

自分ごと化会議

私に関係ある？ ある！

～会議概要と振り返り～

大刀洗町住民協議会

第3回資料

目的

- 協議テーマについて、生活実感を基に具体的に考え、解決策を提案する
- 政治や行政任せにせず、住民自らが「自分ごと」として意見を出し合う

ポイント

1. 「無作為抽出された住民」が委員となり議論する

これまで行政との接点がなかった人も含め、幅広い層の住民参加が期待されます。

2. 「普段の生活実感」をもとに議論する

行政が用意したシナリオではなく、参加者の生活実感を基に議論することで、住民生活における生の声を拾うことができ、より具体的な提案が期待されます。

3. 「自分でできること」から考える

行政への要望に終始せず、まず自分でできること、身近なコミュニティでできることから考えることで、町づくりを「自分ごと」として捉えるきっかけとなります。

協議テーマ

歴史ある住宅と城址（しろあと）の未来

- 佐々木家住宅（三原城址）の町における位置づけ、活用方法を考える。
- 一連の議論を通して、自分や身近なコミュニティにどう影響してくるのか、町の課題とどう関係してくるのか考えることで、まちづくりを「自分ごと」として捉えるきっかけとする。

日程等

回	日時等
第1回	11月27日（日）13時～16時（現地見学含む）
第2回	12月11日（日）13時～16時
第3回	1月15日（日）13時～16時
第4回	2月19日（日）13時～16時
報告書	3月とりまとめ予定

2022年度

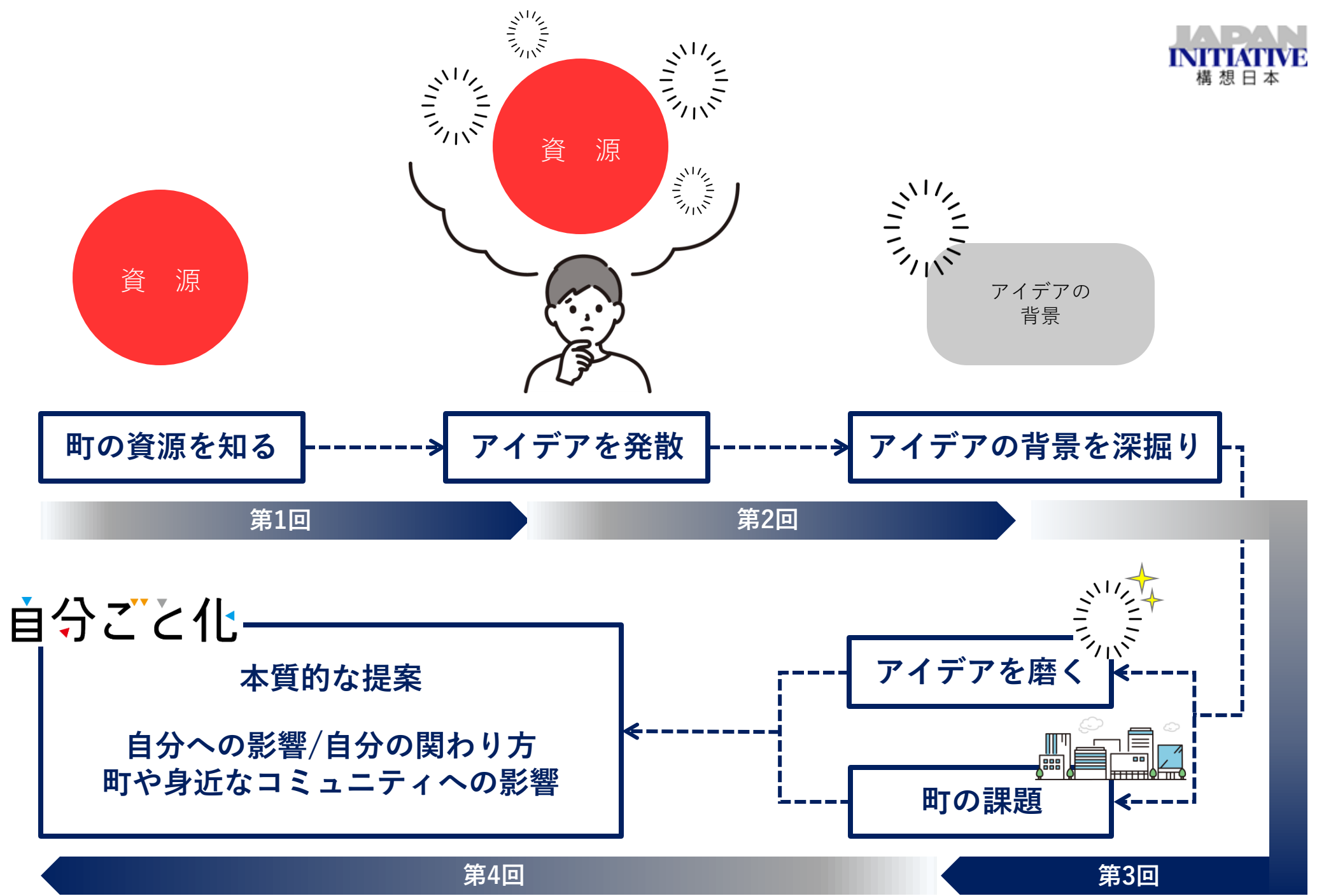
大刀洗町

自分ごと化会議

**参加者
それぞれの役割**

参加者	役割
委員（参加住民）	テーマについて現状を把握し、普段の生活から感じることを基に議論する。
コーディネーター	議論の進行役および論点整理役。 必要に応じて論点の提示、事実関係の確認などを行う。
ナビゲーター テーマ関係者 ※ゲスト参加	議論を行う際の論点提示役。 専門的な視点やこれまでの経験を踏まえた意見や視点の提供を行う。
町テーマ担当課（地域振興課）	テーマの現状やその目的、行政の取組などについて説明。 委員やコーディネーター、ナビゲーターからの質問へ対応。
町事務局（総務課）	全体の進捗管理、構想日本との連絡調整。
構想日本	会議の構成やコーディネーターの派遣など会議の企画運営をサポート。

会議の
進め方



実際に見た佐々木家住宅（三原城址）の印象

■建物の雰囲気について

- 重厚な感じ
- 外から見ると入りづらさを感じる
- 空気感が違う/凛とした感じ
- 外の音が聞こえずとても静かで素敵な空間
- 外と切り離された別世界
- 庭がきれい/四季の変化を楽しめそう

まずは住民に知ってもらい、
住民のための施設として考えるイメージに近い。
徐々に他の地域にも利用が広がっていくとよい。



■知名度や周知について

- 大刀洗に城跡があること自体初めて知った。
- こんな風情のある建物が町にあることに驚いた。
- 小学校の校歌に出てくるのに、実物を見たことがなかった。
- 町の子どもたちに知ってほしい。
- もっと色々な人に存在を知ってほしいと思った。
- 地域の方にもっと周知されたらと思う。

(参考：佐々木家住宅を知っていた？)

- 知っていた : 24%
- 知らなかった : 76%

※第1回アンケートより一部抜粋

保存や活用の意義について

■佐々木家住宅の保存活用を協議する経緯

- これまで個人所有だったが管理が難しくなってきたため手放す意向あり
- 町としての意思決定はされていないが、町長は残したい思いがある

■住民にとって必要かどうか

- 「大刀洗町といえば〇〇」が思いつかない。
- 大刀洗町を他の町の人に紹介するときはどう紹介したらよいか迷う。新しく転入してきた人は特にそうかもしれない。
- 佐々木家住宅が持つ歴史的な背景や文化的な価値は「大刀洗町らしさ」につながるかもしれない。
- 町らしさがはっきりすると町への思い入れも芽生える？



佐々木家住宅/三原城址の

歴史的背景、文化的価値 ⇒ 町らしさ ⇒ 町への思い入れ ⇒ 住み続けたい町

保存活用アイデア

■ アイデアの性質分類

(共通する性質)

- 歴史的、文化的なイメージ

(提案ごとに異なる性質)

- くつろぎ/癒し
- 遊び/刺激
- 学び/学習
- 消費/買い物/食
- 創作



※詳細は別紙「第2回とりまとめ」参照

■ その他の視点

(誰を対象にするか)

- まずは町の人に知ってもらう必要がある。
- 町の子供たちのために活用したい。

(何を活かすか)

- 佐々木家住宅/三原城址を単独で考えるのではなく、町のほかの資源とも結びつけて考える必要があるのではないか。
- 何を残し何を变えていくか、これまで知らなかったのが正直よく分からない。

(持続可能なのか)

- 維持費のことを考えると収益も必要。
- 一時的な需要で整備してしまっているのか (長期的に考えた時にそれは本当に需要があるのか)。

レジュメ（概要）

【振返り】

1. 自己紹介
2. グループで前回の振返りをする

【グループ協議】

2. 提案シートを使いグループごとに3つの案を作る

テーマ「住み続けたい町にするためにどう活用できるか」

- ① 現状からの変化の度合を意識して、案を考えよう
- ② 自分の関わりなども意識して、メリットを伸ばす/デメリットを解消する工夫を考えよう

【全体協議】

3. グループ協議で出てきた案の論点を整理
4. ナビゲーターによるアドバイス

提案シート

提案シート

「住み続けたい町にするために佐々木家住宅/三原城址はどう活用できるか」

グループ 氏名

案	概要	メリット/デメリット		工夫	
松 (大きな変化)		メリット		メリットを伸ばす	
		デメリット		デメリットを改善する	
竹 (ほどほどの変化)		メリット		メリットを伸ばす	
		デメリット		デメリットを改善する	
梅 (小さな変化)		メリット		メリットを伸ばす	
		デメリット		デメリットを改善する	

①
現状からどの程度変化するかをイメージしながら3つ提案

①
各案には、どんなメリット/デメリットがあるか

②
メリット/デメリットを改善するためにどんな工夫ができるか